

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/債券
信託期間	信託期間は2012年4月16日から2021年9月24日までです。
運用方針	主として、「LM・ブラジル・ボンド・ファンド(適格機関投資家専用)」(以下「LM・ブラジル・ボンド・ファンド」といいます。)への投資を通じて、投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要運用対象	以下の投資信託証券を主要投資対象とします。 ①LM・ブラジル・ボンド・ファンド ②短期金融資産 マザーファンド
組入制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。 外貨建資産への直接投資は行いません。 デリバティブの直接利用は行いません。
分配方針	原則として、年2回(3月、9月の23日(休業日の場合は翌営業日))決算を行い、収益の分配を行います。 分配対象額は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益及び売買益等の全額とします。 分配金額については、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。

ブラジル国債ファンド(年2回決算型)

償還報告書(全体版)

第19期(償還日 2021年9月24日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。さて、当ファンドはこのたび、信託期間を満了し、償還いたしました。ここに謹んで設定以来の運用状況と償還内容をご報告いたしますとともに、受益者のみなさまのご愛顧に対しまして厚くお礼申し上げます。今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社

〒105-0011 東京都港区芝公園一丁目1番1号

ホームページ <https://www.smtam.jp/>

■口座残高など、お客さまのお取引内容についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。
■当償還報告書についてのお問い合わせ
フリーダイヤル:0120-668001
(受付時間は営業日の午前9時~午後5時です。)

償還金のお知らせ

1万口当たり償還金

9,496円95銭

【本償還報告書の記載について】

- ・基準(償還)価額および税込分配金は1万口当たりで表記しています。
- ・原則として、数量、額面、金額の表記未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。
- ・一印は、組入、異動等の該当がないことを示します。
- ・設定日の基準価額は当初設定価額を、純資産総額は当初設定元本を記載しています。
- ・指数に関する著作権等の知的財産権およびその他の一切の権利は指数の開発元もしくは公表元に帰属します。

設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			債 券 組 入 比 率	投 資 信 託 証 券 組 入 比 率	純 資 産 額 総
	(分配落)	税 込 金 分 配	期 中 騰 落 率			
設定日(2012年4月16日)	円 10,000	円 —	% —	% —	% —	百万円 1
第1期(2012年9月24日)	9,637	10	△3.5	0.0	97.4	372
第2期(2013年3月25日)	12,071	10	25.4	0.3	98.9	443
第3期(2013年9月24日)	11,434	10	△5.2	0.4	99.4	382
第4期(2014年3月24日)	11,118	10	△2.7	0.4	98.3	379
第5期(2014年9月24日)	12,239	10	10.2	0.5	98.9	220
第6期(2015年3月23日)	10,170	10	△16.8	0.1	98.7	186
第7期(2015年9月24日)	7,695	10	△24.2	0.1	98.2	128
第8期(2016年3月23日)	9,272	10	20.6	0.0	98.1	157
第9期(2016年9月23日)	10,002	10	8.0	0.0	98.4	183
第10期(2017年3月23日)	12,419	10	24.3	0.0	99.4	489
第11期(2017年9月25日)	13,147	10	5.9	0.0	97.5	621
第12期(2018年3月23日)	12,105	10	△7.8	0.0	98.5	376
第13期(2018年9月25日)	10,601	10	△12.3	0.0	95.9	438
第14期(2019年3月25日)	11,512	10	8.7	—	98.6	495
第15期(2019年9月24日)	11,216	10	△2.5	—	97.3	595
第16期(2020年3月23日)	9,499	10	△15.2	—	97.8	556
第17期(2020年9月23日)	8,805	10	△7.2	—	97.4	509
第18期(2021年3月23日)	8,956	10	1.8	—	98.2	437
(償 還 日) 第19期(2021年9月24日)	(償還価額) 9,496.95	—	6.0	—	—	429

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

当期中の基準価額の推移

年 月 日	基 準 価 額		債 券 組 入 比 率	投 資 信 託 証 券 組 入 比 率
	騰 落 率			
(当 期 首) 2021年3月23日	円 8,956	% —	% —	% 98.2
3月末	8,673	△3.2	—	98.2
4月末	9,276	3.6	—	97.8
5月末	9,540	6.5	—	97.5
6月末	10,105	12.8	—	97.7
7月末	9,749	8.9	—	97.7
8月末	9,543	6.6	—	98.3
(償 還 日) 2021年9月24日	(償還価額) 9,496.95	6.0	—	—

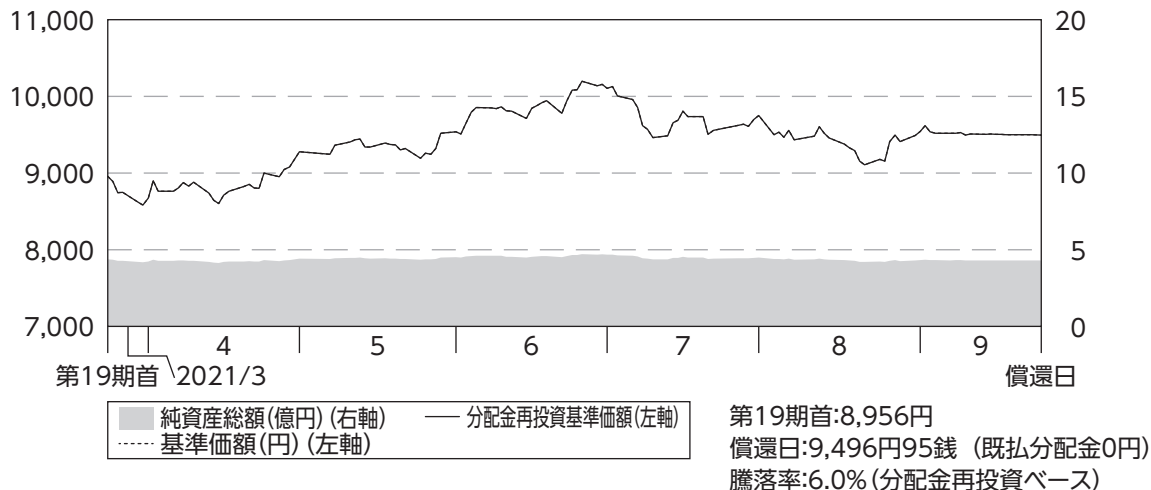
(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

当ファンドの運用の基本方針に適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を特定しておりません。

当期中の運用経過

基準価額等の推移



(注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

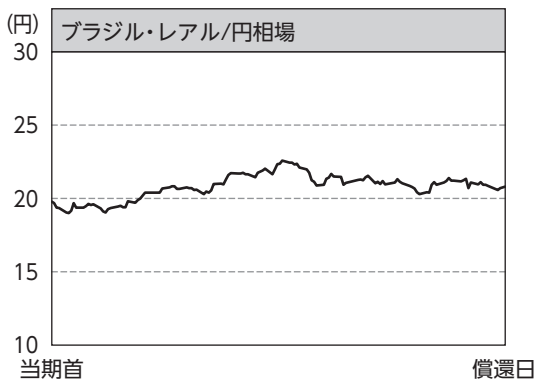
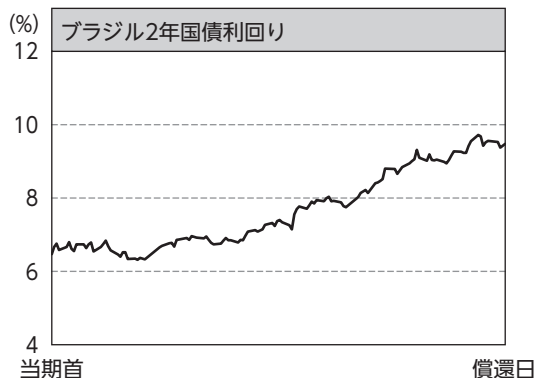
(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、2021年3月23日の値を基準価額に合わせて指数化しています。

基準価額の主な変動要因

当ファンドの主な投資対象である「LM・ブラジル・ボンド・ファンド(適格機関投資家専用)」の基準価額(分配金再投資ベース)が上昇したことから、当ファンドの基準価額(分配金再投資ベース)は上昇しました。

投資環境



ブラジル債券市場では、ブラジル国内の物価上昇加速を背景にBCB(ブラジル中央銀行)が政策金利の引き上げを継続したことなどから、利回りは上昇しました。

為替市場では、円安/ブラジル・レアル高となりました。前半は、主要国で新型コロナウイルスのワクチン接種が進む中、世界経済の回復期待が強まり、投資家のリスク回避姿勢が和らいだことなどから、ブラジル・レアルは対円で上昇しました。後半は、ブラジルで汚職問題などの政治リスクが意識されたことや、新型コロナウイルスデルタ株の世界的な感染拡大に対する懸念が浮上したことなどから、ブラジル・レアル売り・円買いが優勢となりました。

当ファンドのポートフォリオ

○当ファンド

「LM・ブラジル・ボンド・ファンド(適格機関投資家専用)」への投資を高位に保つ運用を行いました。2021年9月上旬に投資対象ファンドを全て売却しました。

・LM・ブラジル・ボンド・ファンド(適格機関投資家専用)

当期においては、基準価額(分配金再投資ベース)は上昇しました。ブラジルの金利水準が相対的に高いことから、保有債券からの安定した利金を確保しました。債券利回りの上昇から、公社債損益がマイナスとなりました。一方、円安/ブラジル・レアル高を反映し、為替要因がプラスとなりました。

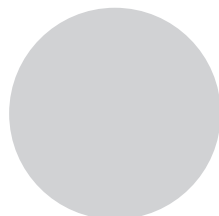
<投資対象ファンドについては、運用会社からの情報に基づき掲載しています。>

当ファンドの組入資産の内容

○組入ファンド

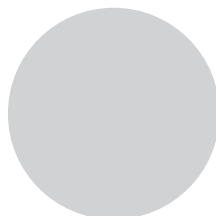
償還時における該当事項はありません。

○資産別配分



短期金融資産等
100.0%

○国別配分



日本
100.0%

○通貨別配分



円
100.0%

(注)比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用の基本方針に適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を特定しておりません。

分配金

該当事項はありません。

設定以来の運用経過

「LM・ブラジル・ボンド・ファンド(適格機関投資家専用)」への投資を高位に保つ運用を行いました。2021年9月上旬に投資対象ファンドを全て売却しました。

【基準価額の主な変動要因】

<第1期>

当ファンドの主な投資対象である「LM・ブラジル・ボンド・ファンド(適格機関投資家専用)」の基準価額(分配金再投資ベース)が下落したことから、当ファンドの基準価額(分配金再投資ベース)も下落しました。

<第2期>

当ファンドの主な投資対象である「LM・ブラジル・ボンド・ファンド(適格機関投資家専用)」の基準価額(分配金再投資ベース)が上昇したことから、当ファンドの基準価額(分配金再投資ベース)も上昇しました。

<第3期>

当ファンドの主な投資対象である「LM・ブラジル・ボンド・ファンド(適格機関投資家専用)」の基準価額(分配金再投資ベース)が下落したことから、当ファンドの基準価額(分配金再投資ベース)も下落しました。

<第4期>

当ファンドの主な投資対象である「LM・ブラジル・ボンド・ファンド(適格機関投資家専用)」の基準価額(分配金再投資ベース)が下落したことから、当ファンドの基準価額(分配金再投資ベース)も下落しました。

<第5期>

当ファンドの主な投資対象である「LM・ブラジル・ボンド・ファンド(適格機関投資家専用)」の基準価額(分配金再投資ベース)が上昇したことから、当ファンドの基準価額(分配金再投資ベース)も上昇しました。

<第6期>

当ファンドの主な投資対象である「LM・ブラジル・ボンド・ファンド(適格機関投資家専用)」の基準価額(分配金再投資ベース)が下落したことから、当ファンドの基準価額(分配金再投資ベース)も下落しました。

<第7期>

当ファンドの主な投資対象である「LM・ブラジル・ボンド・ファンド(適格機関投資家専用)」の基準価額(分配金再投資ベース)が下落したことから、当ファンドの基準価額(分配金再投資ベース)も下落しました。

<第8期>

当ファンドの主な投資対象である「LM・ブラジル・ボンド・ファンド(適格機関投資家専用)」の基準価額(分配金再投資ベース)が上昇したことから、当ファンドの基準価額(分配金再投資ベース)も上昇しました。

設定以来の運用経過

<第9期>

当ファンドの主な投資対象である「LM・ブラジル・ボンド・ファンド(適格機関投資家専用)」の基準価額(分配金再投資ベース)が上昇したことから、当ファンドの基準価額(分配金再投資ベース)も上昇しました。

<第10期>

当ファンドの主な投資対象である「LM・ブラジル・ボンド・ファンド(適格機関投資家専用)」の基準価額(分配金再投資ベース)が上昇したことから、当ファンドの基準価額(分配金再投資ベース)も上昇しました。

<第11期>

当ファンドの主な投資対象である「LM・ブラジル・ボンド・ファンド(適格機関投資家専用)」の基準価額(分配金再投資ベース)が上昇したことから、当ファンドの基準価額(分配金再投資ベース)も上昇しました。

<第12期>

当ファンドの主な投資対象である「LM・ブラジル・ボンド・ファンド(適格機関投資家専用)」の基準価額(分配金再投資ベース)が下落したことから、当ファンドの基準価額(分配金再投資ベース)も下落しました。

<第13期>

当ファンドの主な投資対象である「LM・ブラジル・ボンド・ファンド(適格機関投資家専用)」の基準価額(分配金再投資ベース)が下落したことから、当ファンドの基準価額(分配金再投資ベース)は下落しました。

<第14期>

当ファンドの主な投資対象である「LM・ブラジル・ボンド・ファンド(適格機関投資家専用)」の基準価額(分配金再投資ベース)が上昇したことから、当ファンドの基準価額(分配金再投資ベース)は上昇しました。

<第15期>

当ファンドの主な投資対象である「LM・ブラジル・ボンド・ファンド(適格機関投資家専用)」の基準価額(分配金再投資ベース)が下落したことから、当ファンドの基準価額(分配金再投資ベース)は下落しました。

<第16期>

当ファンドの主な投資対象である「LM・ブラジル・ボンド・ファンド(適格機関投資家専用)」の基準価額(分配金再投資ベース)が下落したことから、当ファンドの基準価額(分配金再投資ベース)は下落しました。

<第17期>

当ファンドの主な投資対象である「LM・ブラジル・ボンド・ファンド(適格機関投資家専用)」の基準価額(分配金再投資ベース)が下落したことから、当ファンドの基準価額(分配金再投資ベース)は下落しました。

<第18期～償還>

当ファンドの主な投資対象である「LM・ブラジル・ボンド・ファンド(適格機関投資家専用)」の基準価額(分配金再投資ベース)が上昇したことから、当ファンドの基準価額(分配金再投資ベース)は上昇しました。

1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	(2021年3月24日～2021年9月24日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	54円	0.569%	(a) 信託報酬 = $\frac{\text{[期中の平均基準価額]} \times \text{信託報酬率}}{\text{期中の平均基準価額}}$ は9,481円です。 信託報酬に係る消費税は当(作成)期末の税率を採用しています。 委託した資金の運用、基準価額の計算、開示資料作成等の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(投信会社)	(13)	(0.139)	
(販売会社)	(39)	(0.413)	
(受託会社)	(2)	(0.017)	
(b) 売買委託手数料	—	—	(b) 売買委託手数料 = $\frac{\text{[期中の売買委託手数料]}}{\text{[期中の平均受益権口数]}} \times 10,000$ 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(—)	(—)	
(新株予約権証券)	(—)	(—)	
(オプション証券等)	(—)	(—)	
(新株予約権付社債(転換社債))	(—)	(—)	
(投資信託証券)	(—)	(—)	
(商品)	(—)	(—)	
(先物・オプション)	(—)	(—)	
(c) 有価証券取引税	—	—	(c) 有価証券取引税 = $\frac{\text{[期中の有価証券取引税]}}{\text{[期中の平均受益権口数]}} \times 10,000$ 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(—)	(—)	
(新株予約権証券)	(—)	(—)	
(オプション証券等)	(—)	(—)	
(新株予約権付社債(転換社債))	(—)	(—)	
(公社債)	(—)	(—)	
(投資信託証券)	(—)	(—)	
(d) その他費用	0	0.003	(d) その他費用 = $\frac{\text{[期中のその他費用]}}{\text{[期中の平均受益権口数]}} \times 10,000$ 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、金銭信託預入に係る手数料等
(保管費用)	(—)	(—)	
(監査費用)	(0)	(0.003)	
(その他)	(—)	(—)	
合計	54	0.572	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
なお、売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

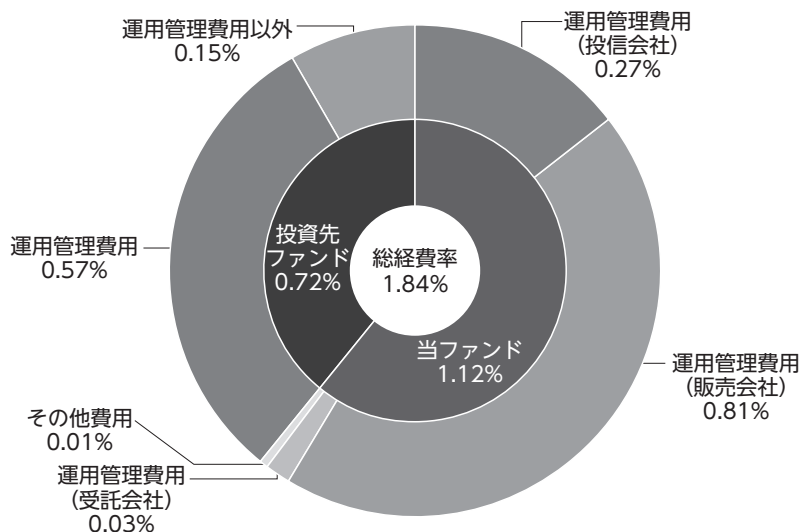
(注3) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません(マザーファンドを除く)。

<参考情報>

総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は1.84%です。



総経費率(①+②+③)	1.84%
①当ファンドの費用の比率	1.12%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.57%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.15%

(注1)当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2)各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3)各比率は、年率換算した値です。

(注4)投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)です。

(注5)当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6)当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7)投資先ファンドの運用管理費用の比率は、各月末の投資先ファンドの保有比率に当該投資先ファンドの運用管理費率を乗じて算出した概算値を使用している場合があります。

(注8)上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

売買および取引の状況

<投資信託受益証券>

		当 期			
		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
国内	LM・ブラジル・ボンド・ファンド（適格機関投資家専用）	千口 51,511	千円 15,000	千口 1,543,594	千円 448,528

(注)金額は受渡代金です。

<親投資信託受益証券の設定、解約状況>

		当 期			
		設 定		解 約	
		口 数	金 額	口 数	金 額
短期金融資産	マザーファンド	千口 —	千円 —	千口 140	千円 142

利害関係人※との取引状況等

■ 利害関係人との取引状況

区 分	当 期					
	買付額等A	うち利害関係人との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等C	うち利害関係人との取引状況D	$\frac{D}{C}$
投資信託受益証券	百万円 15	百万円 15	% 100.0	百万円 448	百万円 448	% 100.0
コール・ローン	5,364	4	0.1	4,947	4	0.1

(注)当該取引に係る利害関係人は、三井住友信託銀行株式会社です。

<短期金融資産 マザーファンド>

区 分	当 期					
	買付額等A	うち利害関係人との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等C	うち利害関係人との取引状況D	$\frac{D}{C}$
コール・ローン	百万円 1,649,907	百万円 4,604	% 0.3	百万円 1,649,511	百万円 4,604	% 0.3

<平均保有割合 0.0%>

(注1)平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当ファンドの親投資信託所有口数の割合です。

(注2)当該取引に係る利害関係人は、三井住友信託銀行株式会社です。

※ 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細

償還時における該当事項はありません。

投資信託財産の構成

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	千円 432,736	% 100.0
投 資 信 託 財 産 総 額	432,736	100.0

資産、負債、元本および償還価額の状況ならびに損益の状況

■資産、負債、元本および償還価額の状況

項 目	償 還 時 2021年9月24日現在
(A) 資 産	432,736,317円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	432,736,317
(B) 負 債	3,300,716
未 払 解 約 金	773,187
未 払 信 託 報 酬	2,513,671
未 払 利 息	1,603
そ の 他 未 払 費 用	12,255
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	429,435,601
元 本	452,182,434
償 還 差 損 金	△22,746,833
(D) 受 益 権 総 口 数	452,182,434口
1万口当たり償還価額(C/D)	9,496円95銭

■損益の状況

項 目	当 期 自 2021年3月24日 至 2021年9月24日
(A) 配 当 等 収 益	23,922,902円
受 取 配 当 金	23,932,958
受 取 利 息	27
支 払 利 息	△10,083
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	3,051,163
売 買 益	4,243,569
売 買 損	△1,192,406
(C) 信 託 報 酬 等	△2,525,926
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	24,448,139
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△113,824,333
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	66,629,361
(配 当 等 相 当 額)	(466,148,405)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△399,519,044)
償 還 差 損 金 (D+E+F)	△22,746,833

(注1) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注2) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

※当ファンドの期首元本額は489,017,823円、期中追加設定元本額は1,067,349円、期中一部解約元本額は37,902,738円です。

投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2012年4月16日			投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2021年9月24日			資産総額	432,736,317円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減又は追加信託	負債総額	3,300,716円	
受益権口数	1,000,000口	452,182,434口	451,182,434口	純資産総額	429,435,601円	
				受益権口数	452,182,434口	
元本額	1,000,000円	452,182,434円	451,182,434円	1万円当たり償還金	9,496.95円	
毎計算期末の状況						
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万円当たり分配金		
				金額	分配率	
第1期	386,834,659円	372,777,376円	9,637円	10円	0.1000%	
第2期	367,691,652	443,842,529	12,071	10	0.1000	
第3期	334,584,281	382,555,597	11,434	10	0.1000	
第4期	341,318,167	379,465,033	11,118	10	0.1000	
第5期	180,200,643	220,544,350	12,239	10	0.1000	
第6期	183,438,745	186,559,792	10,170	10	0.1000	
第7期	167,595,553	128,966,744	7,695	10	0.1000	
第8期	169,989,965	157,617,955	9,272	10	0.1000	
第9期	183,027,775	183,055,928	10,002	10	0.1000	
第10期	394,183,595	489,549,280	12,419	10	0.1000	
第11期	472,590,129	621,301,972	13,147	10	0.1000	
第12期	311,064,186	376,554,326	12,105	10	0.1000	
第13期	413,200,199	438,044,341	10,601	10	0.1000	
第14期	430,679,434	495,805,789	11,512	10	0.1000	
第15期	530,765,760	595,312,335	11,216	10	0.1000	
第16期	585,533,924	556,187,869	9,499	10	0.1000	
第17期	579,150,086	509,960,229	8,805	10	0.1000	
第18期	489,017,823	437,965,222	8,956	10	0.1000	

お知らせ

該当事項はありません。

短期金融資産 マザーファンド

運用報告書

第13期（決算日 2020年9月25日）

当親投資信託の仕組みは次の通りです。

信託期間	信託期間は2007年9月26日から無期限です。
運用方針	わが国の短期金融資産等(短期公社債および短期金融商品を含みます。以下同じ。)を中心に投資を行い、安定した収益の確保を目標として運用を行います。
主要運用対象	わが国の短期金融資産等を主要投資対象とします。
組入制限	外貨建資産への投資は行いません。

当親投資信託はこのたび上記の決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社

【本運用報告書の記載について】

- ・基準価額は1万口当たりで表記しています。
- ・原則として、数量、額面、金額の表記未满是切捨て、比率は四捨五入で表記しています。
- ・一印は、組入、異動等の該当がないことを示します。
- ・指数に関する著作権等の知的財産権およびその他の一切の権利は指数の開発元もしくは公表元に帰属します。

最近5期の運用実績

決算期	基準価額		参考指数		債券先物率 債組入比率	債券先物率 債比	純資産額
	期騰	期中落率	期騰	期中落率			
第9期(2016年9月26日)	円 10,153	% 0.0	10,116	% 0.0	% 36.0	% —	百万円 7,659
第10期(2017年9月25日)	10,146	△0.1	10,111	△0.0	3.9	—	7,717
第11期(2018年9月25日)	10,138	△0.1	10,106	△0.1	3.7	—	8,170
第12期(2019年9月25日)	10,129	△0.1	10,100	△0.1	—	—	8,839
第13期(2020年9月25日)	10,124	△0.0	10,096	△0.0	—	—	9,348

(注)債券先物比率は「買建比率－売建比率」で算出しております。

当期中の基準価額と市況の推移

年月日	基準価額		参考指数		債券先物率 債組入比率	債券先物率 債比
	騰	落率	騰	落率		
(当期首) 2019年9月25日	円 10,129	% —	10,100	% —	% —	% —
9月末	10,128	△0.0	10,099	△0.0	—	—
10月末	10,128	△0.0	10,099	△0.0	—	—
11月末	10,128	△0.0	10,099	△0.0	—	—
12月末	10,127	△0.0	10,099	△0.0	—	—
2020年1月末	10,127	△0.0	10,098	△0.0	—	—
2月末	10,127	△0.0	10,098	△0.0	—	—
3月末	10,126	△0.0	10,098	△0.0	—	—
4月末	10,126	△0.0	10,097	△0.0	—	—
5月末	10,126	△0.0	10,097	△0.0	—	—
6月末	10,125	△0.0	10,097	△0.0	—	—
7月末	10,125	△0.0	10,096	△0.0	—	—
8月末	10,124	△0.0	10,096	△0.0	—	—
(当期末) 2020年9月25日	10,124	△0.0	10,096	△0.0	—	—

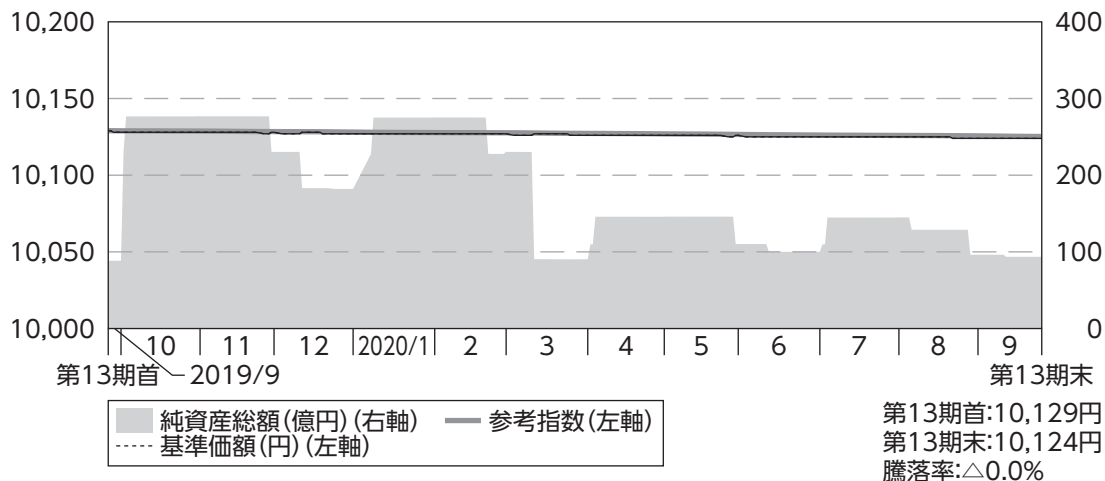
(注1)騰落率は期首比です。

(注2)債券先物比率は「買建比率－売建比率」で算出しております。

参考指数は、無担保コール翌日物金利の累積投資収益率で、設定日を10,000として指数化しております。

当期中の運用経過と今後の運用方針

基準価額等の推移

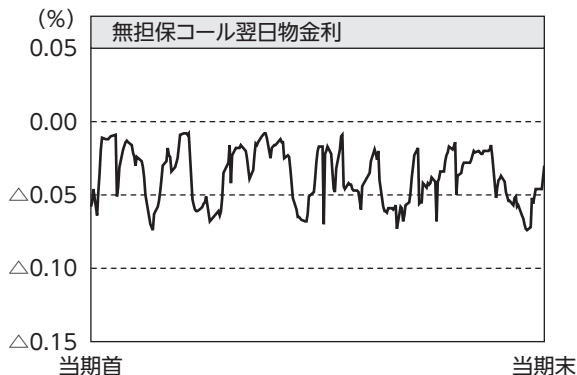


(注)参考指数は、2019年9月25日の値を基準価額に合わせて指数化しています。

基準価額の主な変動要因

日銀による「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」政策が継続され、引き続き良好な国債需給環境が継続したことから、当期の短期国債利回りはマイナス圏で推移しました。また、日銀は当座預金の一部に△0.1%のマイナス金利を適用する方針を維持したことから、無担保コール翌日物金利は概ね△0.08～△0.01%近辺で推移しました。このような中、コールローン等の比率を高めた運用を行い、基準価額は横ばい推移となりました。

投資環境



日銀による「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」政策が継続され、引き続き良好な国債需給環境が継続したことから、当期の短期国債利回りは概ねマイナス圏で推移しました。また、日銀は当座預金の一部に△0.1%のマイナス金利を適用する方針を維持したことから、無担保コール翌日物金利は概ね△0.08～△0.01%近辺で推移しました。

当ファンドのポートフォリオ

日銀の金融緩和継続により短期国債のマイナス金利が常態化する中、コールローン等の比率を高めた運用を行い、市場運用ができない資金は受託銀行の金銭信託へ預け入れました。

当ファンドの組入資産の内容

○上位10銘柄

当期末における該当事項はありません。

○資産別配分



短期金融資産等
100.0%

○国別配分



日本
100.0%

○通貨別配分



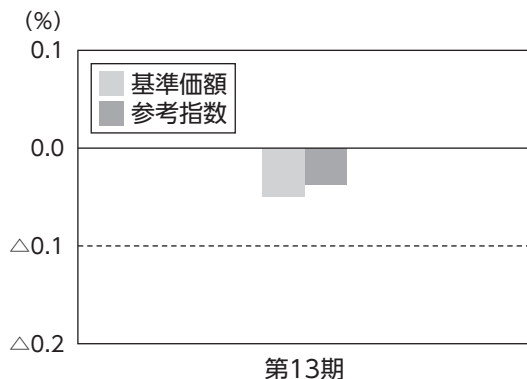
円
100.0%

(注)比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



今後の運用方針

わが国の短期金融資産等(短期公社債および短期金融商品を含みます。)を中心に投資を行い、わが国の無担保コール翌日物金利の累積投資収益率を上回る運用成果をめざします。

1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	(2019年9月26日~2020年9月25日)		
	金額	比率	
(a) 売買委託手数料 (株式) (新株予約権証券) (オプション証券等) (新株予約権付社債(転換社債)) (投資信託証券) (商品) (先物・オプション)	-円 (-) (-) (-) (-) (-) (-)	-% (-) (-) (-) (-) (-) (-)	(a) 売買委託手数料 = $\frac{[\text{期中の売買委託手数料}]}{[\text{期中の平均受益権口数}]} \times 10,000$ 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有価証券取引税 (株式) (新株予約権証券) (オプション証券等) (新株予約権付社債(転換社債)) (公社債) (投資信託証券)	- (-) (-) (-) (-) (-)	- (-) (-) (-) (-) (-)	(b) 有価証券取引税 = $\frac{[\text{期中の有価証券取引税}]}{[\text{期中の平均受益権口数}]} \times 10,000$ 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) その他費用 (保管費用) (監査費用) (その他)	0 (-) (-) (0)	0.000 (-) (-) (0.000)	(c) その他費用 = $\frac{[\text{期中のその他費用}]}{[\text{期中の平均受益権口数}]} \times 10,000$ 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、金銭信託預入に係る手数料等
合計	0	0.000	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額(10,126円)で除して100を乗じたものです。

売買および取引の状況

当期中における該当事項はありません。

利害関係人^{*}との取引状況等

■利害関係人との取引状況

区 分	当			期		
	買付額等A	うち利害関係人 との取引状況B	B A	売付額等C	うち利害関係人 との取引状況D	D C
金 銭 信 託	百万円 2,717	百万円 2,717	% 100.0	百万円 2,717	百万円 2,717	% 100.0
コ ー ル ・ ロ ー ン	4,374,378	666,575	15.2	4,373,871	668,664	15.3

(注) 当該取引に係る利害関係人は、三井住友信託銀行株式会社です。

組入資産の明細

当期末における該当事項はありません。

投資信託財産の構成

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	千円 9,350,286	% 100.0
投 資 信 託 財 産 総 額	9,350,286	100.0

* 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

資産、負債、元本および基準価額の状況ならびに損益の状況

■資産、負債、元本および基準価額の状況

項 目	当 期 末 2020年9月25日現在
(A)資 産	9,350,286,816円
コール・ローン等	9,350,286,816
(B)負 債	1,441,891
未払解約金	1,430,082
未払利息	11,809
(C)純 資 産 総 額(A-B)	9,348,844,925
元 本	9,234,430,779
次期繰越損益金	114,414,146
(D)受 益 権 総 口 数	9,234,430,779口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,124円

■損益の状況

項 目	当 期 自 2019年9月26日 至 2020年9月25日
(A)配 当 等 収 益	△8,256,605円
受 取 利 息	62,186
支 払 利 息	△8,318,791
(B)そ の 他 費 用	△20,510
(C)当 期 損 益 金(A+B)	△8,277,115
(D)前 期 繰 越 損 益 金	112,176,004
(E)追 加 信 託 差 損 益 金	487,039,330
(F)解 約 差 損 益 金	△476,524,073
(G) 計 (C+D+E+F)	114,414,146
次 期 繰 越 損 益 金(G)	114,414,146

(注1) (E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注2) (F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

※当ファンドの期首元本額は8,727,644,976円、期中追加設定元本額は38,322,395,751円、期中一部解約元本額は37,815,609,948円です。

※当ファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は次の通りです。

バランスG(25)VA(適格機関投資家専用)	6,760,615,573円
DCターゲット・イヤー ファンド2025	2,321,282,475円
DCターゲット・イヤー ファンド2035	83,124,453円
DCターゲット・イヤー ファンド2045	40,627,081円
FOFs用 短期金融資産ファンド(適格機関投資家専用)	15,377,785円
ブラジル高配当株オープン(毎月決算型)	9,880,568円
ブラジル国債ファンド(毎月分配型)	2,120,953円
米国成長株式ファンド	493,486円
DCターゲット・イヤー ファンド2055	352,611円
アメリカ高配当株オープン(毎月決算型)	296,510円
ブラジル国債ファンド(年2回決算型)	140,627円
アメリカ高配当株オープン(年2回決算型)	98,901円
日本株配当戦略投信2020-09(適格機関投資家専用)	9,878円
北米株配当戦略投信2018-08(為替ヘッジあり)(適格機関投資家専用)	9,878円

お知らせ

当ファンドの運用実態を踏まえ、デリバティブ取引の利用目的を明確化するため、投資信託約款に所要の変更を行いました。

(変更日:2020年3月14日)